

カンボジアの小地域統計

西 文彦（総務省統計研修所）

菅 まり（総務省統計研修所）

本報告は、総務省統計研修所の調査研究の一環として作成したものである。総務省統計研修所は、総務省統計局等とともに、国際協力機構（JICA）を通じてカンボジア計画省統計局に対して、2005年8月から2010年9月までの予定で技術協力を実施している（<http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/nittei.htm> 参照）。この技術協力を通じて、カンボジア計画省統計局から1998年カンボジア人口センサス個別データの使用許可を得て、新たな小地域統計を集計した。本報告では、その集計結果からカンボジアの小地域別人口の状況、特に、プノンペン及びその周辺地域の状況について報告する。

カンボジア全体の人口の概要は以下のとおりである。1998年人口センサス（1998年3月3日現在）の結果では、総人口は1144万人、面積は18万km²（我が国の約半分）となっている。地方行政地域は、上位から順に、州（Province）、郡（District）、コミューン（Commune）及び村（Village）となっており、また、それらの数は、24 Provinces、183 Districts、1609 Communes 及び 13,406 Villages となっている。

一方、2006年の推計値は、総人口が1408万人（年間人口増加率2.4%）で、地方行政地域の実数は、24 Provinces、185 Districts、1621 Communes 及び 13,886 Villages となっている。（http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/pdf/imp_stat.pdf 参照）

カンボジアの既存の小地域統計（政府統計）は、1998年人口センサスの結果として、Village 別の世帯数及び男女別人口が公表されているのみである。この外、各 Village に置かれている村長（Village Chief）は、各 Village の世帯数（住宅数と言った方が正確であるが）や境界線を常に把握している。

カンボジアにおける小地域統計作成にあたっての問題点等は以下のとおりである。

Village 自体はカンボジア内務省により承認されているものの、正式な Village 境界線が画定されていない。

Village の分割、統合等が頻繁に行われている。

縮尺10万分の1の地図しかなく、小地域を識別できるような縮尺の大きな地図が存在しない。（ただし、プノンペンについては5000分の1の地図が存在する。）

縮尺10万分の1のデジタル地図がカンボジア全域にわたって利用可能である。

このデジタル地図には Communes までの行政境界線が入力されている。

なお、本報告の内容は、次の総務省統計研修所ウェブサイトに掲載する予定である。

<http://www.stat.go.jp/training/2kenkyu/saika.htm>